

多摩消防団だより

第19号
発行
平成29年9月吉日
多摩消防団広報部
印刷
井上印刷所



多摩消防団 団長
井田 哲芳

平成二十九年四月一日より、第五代多摩消防団団長の拜命を受けました。団長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

消防団員の皆様には、日頃より消防団活動にご解いただき昼夜を問わず献身的にご協力いただきまして、心から厚く御礼申し上げます。

また、団員のご家族の皆様におかれましても、深いご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。皆様のご協力のもと、団長の重責を全うする所存でございます。

さて、昨今、各地で地震・風水害等の災害が多く発生しております。これから起こりうる自然災害に対し消防団の役割任務は一層重要となり、皆様からの期待は益々高まっております。

多摩消防団は一致団結し「郷土愛護の精神」で努力を重ね、区民の生命・財産を守るべく努めて参ります。今後とも関係機関各位の皆様方には益々のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。団長就任の挨拶といたします。



多摩消防署 署長
白石 与志夫

四月一日付けで多摩消防署長に着任いたしました白石でございます。

多摩消防署は三年ぶり四回目の勤務となります。

着任し、多摩消防団幹部の皆様にお会いした際には、これまでの多摩消防署勤務時代にも大変お世話になった思い出が蘇り、とても懐かしく、また、多摩区に戻ることができたことを、大変幸せに感じております。

近年災害は、複雑多様化・異常現象により大規模化している中で、住民の安全・安心に対する関心は一段と高まりをみせ、地域に根ざした消防団の活動に寄せる期待は、ますます大きくなっております。

歴史と伝統のある多摩消防団の皆様と一緒に地域の安全・安心業務に関われる事を大変光栄に思います。皆様には地域防災の要として、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

辞令交付式

平成二十九年四月十五日、多摩消防署講堂にて、辞令交付式が行われました。井田哲芳新団長のもと、新体制となり新部長や新班長、十名の新入団員に対して、辞令が渡されました。

また、退団された方々にも辞令が渡されました。

四二年間務められました前団長の松澤喜義様をはじめ、退団された方々におかれましては、永年に亘り誠にありがとうございました。



多摩消防団役員

| | |
|------|-------|
| 団長 | 井田 哲芳 |
| 副団長 | 増田 朝光 |
| 副団長 | 関 喜範 |
| 庶務部長 | 井口 保 |
| 警護部長 | 吉澤 偉臣 |
| 消防部長 | 井田 久 |
| 広報部長 | 石川 秀明 |

稲田分団役員

| | |
|------|-------|
| 分団長 | 樋山 満 |
| 副分団長 | 手塚 貴久 |
| 副分団長 | 大貫 欽也 |
| 分団部長 | 木幡 義幸 |
| 分団部長 | 田村賢太郎 |
| 分団部長 | 吉澤 久裕 |
| 分団部長 | 榎田 良光 |
| 分団部長 | 保田 昌彦 |
| 分団部長 | 平糠 毅 |

生田分団役員

| | |
|------|-------|
| 分団長 | 遠藤 厳留 |
| 副分団長 | 漆原 英樹 |
| 副分団長 | 齊藤 嘉章 |
| 分団部長 | 田中 雅之 |
| 分団部長 | 中山 昭二 |
| 分団部長 | 松澤 善治 |
| 分団部長 | 藤井 修二 |





多摩消防団 副団長
機動部隊隊長

増田 朝光

本年度より多摩消防団機動部隊の統括隊長に就任しました、副団長の増田朝光です。

当部隊が発足して五年半になりました。この間、災害等の出勤は一度もありませんでしたが、近年、異常気象による自然災害等が多くなっている様に思われます。

今年度も定期的に訓練を行い、地域の防災活動等へ積極的に参加していきたくと思っています。

今後とも、機動部隊への御支援、御協力をお願い致します。新任の挨拶とさせていただきます。



多摩消防団 副団長

関 喜範

松澤前団長の退任に伴い、今年度より副団長を仰せつかる事になりました。

松澤前団長の長きに亘る消防団活動、大変お疲れ様でした。心から感謝申し上げます。消防団員は震災、風水害等とは異なり、消火活動や地域の防火・防災等での活動が多い中、的確な指示ができるよう精進してまいります。

また、近隣の他区、他市の消防団、多摩消防署長をはじめ、署員の方々との連携を取りながら活動を進めてまいります。

今年度から、井田団長のもと、「精一杯頑張ります！」と、決意表明いたしました。副団長就任の挨拶と致します。



生田分団 分団長

遠藤 厳留

今年度より多摩消防団生田分団分団長を任命されました。日頃より生田分団の消防団活動に対し、ご理解、ご尽力賜りありがとうございます。

火災・災害が多様化する現在、消防署と消防団また、地域の方々との連携が大事になってまいります。

地域の方々のご協力を頂きながら生田地区の安心、安全を守って参りたいと思います。

今までの分団長と比べて、頼りない部分が多々ありますが、できる限りの努力をします。これからも生田分団へのご協力の程よろしくお願ひ致します。



前多摩消防団 団長

松澤 喜義
「がんばれ消防団」

四十二年間地域の安心・安全な防火・防災の為に全力で消防団活動をして参りました。苦しい時、楽しい時、色々と体験させて頂きました。

消防団長に就任してからは、消防大学校にて全国に同期生が由来しました。

これまで消防局、多摩消防署はもちろん、自治会、町会、防火協会と、たくさんの消防関係の皆様は大変お世話になりました。

いつ大地震、大災害が起きてもおかしくない現在、どうか各地域で、備える、被害の少なくなる訓練を続けていきましょう！

私もこれまで以上に頑張つて参ります。皆様のご健勝、ご多幸を心より祈っております。ありがとうございます。

文化財防火デー消防訓練

一月二十六日に多摩区枳形にある川崎市日本民家園の旧広瀬家において、多摩消防署・自衛消防隊・生田分団長沢班が連携し、囲炉裏付近から出火したとの想定から本番さながらの訓練を実施しました。

昨年引き続き訓練に参加し、過去にあった火災を二度と繰り返さないよう毎年一月二十六日の文化防災デーの日に訓練を重ねることの大切さを痛感しました。



狛江市総合水防訓練

六月四日狛江市総合水防訓練が、狛江市側の多摩川河川敷において行われました。昨年同様、多摩消防団は狛江市消防団と連携し、改良積み土のう工法の訓練を実施しました。

多摩川では四十三年前に台風による大雨で、堤防が決壊しており、災害への備えの重要性を改めて感じました。



稲田分団操法大会

六月十一日、川崎市総合消防訓練所にて稲田分団操法大会が開催されました。

晴天に恵まれ、小隊訓練、小型ポンプ操法を実施しました。小隊訓練では各班一体となった規律正しい演技が行われ、小型ポンプ操法では、各班一〜三隊の部隊を編成し、「おさめ」までの演技を行い、日頃の訓練の成果が十分に発揮された大会となりました。



消防団用器具等性能検査

四月十五日、宮前消防署大蔵出張所に併設している消防訓練センターにおいて、多摩消防団の機械器具等の性能検査が行われました。

車両点検の後、小型ポンプ、吸管の検査を実施し、最後にホースを十八本結合して、ホースに不具合がないか確認を行いました。



生田分団 団旗祭

六月十一日、晴天の下、枳形中学校の校庭にて、生田分団伝統の団旗祭が開催されました。

各町会関係者や地域の方々をお招きし、新入団員を加えた体制のお披露目として、消防団活動の基礎となる小隊訓練と、各班の小型ポンプ操法を見ていただきました。

全団員がより一層の安全と防災努力、郷土愛護の精神をもってこれからも活動していきます。地域の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご協力のほど、よろしく申し上げます。



多摩消防団消防大会

六月十八日、明治大学生田キャンパスにて第十八回多摩消防団消防大会が開催されました。

当日は、大勢のご来賓をお迎えし各班から選抜された九隊が小型ポンプ操法の競技を行いました。選手たちは日頃の訓練の成果を發揮し、多摩消防団の消防力向上に繋がる大会となりました。



優勝 稲田分団 宿河原・堰班
 準優勝 稲田分団 登戸班
 第三位 稲田分団 中野島班

※小型ポンプ操法とは・・・
 指揮者の指示により、ホース延長・ポンプ操作を行い放水し、火点を倒すまでのタイム及び行動を審査する競技です。

優勝 宿河原・堰班

班長 村越 瑞穂

二〇二一年間、三位以内の無い宿河原・堰班。班員全員が優勝を目標に訓練へ臨みました。二ヶ月間の厳しい操法訓練が終わり、迎えた大会当日、選手達は最高の操法を見せてくれた結果、念願叶い優勝することができました。班が一丸となり勝ち取った勝利を誇りにし、これからの消防団活動に励みたいと思います。



優秀選手賞

指揮者 稲田分団 宿河原・堰班

須賀 大元選手

結果発表で「優勝、稲田分団宿河原・堰班」と呼ばれた時は本当に嬉しかったです。その後、最優秀選手の発表で自分の名前が呼ばれた時は、嬉しいより、今までの訓練で指導して頂いた諸先輩方、班員の仲間、そして、消防団活動を理解してサポートしてくれた家族への感謝の気持ちで一杯になりました。この場を借りて、感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

一番員 稲田分団 中野島班

古谷 和之選手

昨年も一番員として出場し、優秀選手賞を獲得しました。引き続き同じ番手ということでプレッシャーもありましたが、それも楽しみながら演技を行いました。順位は三位だったので、来年こそ優勝し、三年連続優秀選手賞を獲得できるように精進します。

二番員 稲田分団 登戸班

三平 和典選手

今年四月に入団し、二ヶ月半の訓練では、始めはついて行くのが精一杯でしたが、徐々に体が慣れ、三番員との連携に達成感が出てきました。結果は準優勝でしたが、本番では訓練通りの動きで、二・三番員同時受賞ができました。日々の訓練でご指導頂いた先輩方に良いお土産となりました。来年は今年以上の順位を狙いたいと思います。

三番員 稲田分団 登戸班

本間 正俊選手

訓練期間中は、誰よりも多くの様々なミスをして不安でしたが、その度に選手間で意見交換すると共に、指導の方に対策を考えていただき、上手く成長を引き出していただけました。そのおかげで大会直前には不安が自信に変わり、落ち着いて本番に挑むことができたと思います。ありがとうございました。

平成二十九年
 全国統一防火標語

火の用心
 ことばを形に習慣に

多摩消防団広報部

本団広報部長 石川 秀明
 生田分団部長 藤井 修二
 稲田分団部長 平糠 毅
 生田分団団員 岩崎 重雄
 生田分団団員 松澤 大地
 生田分団団員 荒井 稔
 生田分団団員 大木 康弘
 生田分団団員 山本 厚志
 稲田分団団員 田村 英喜
 稲田分団団員 小林 智創
 稲田分団団員 柿崎 智幸
 稲田分団団員 新井 基之

編集後記

第十九号発行「多摩消防団だより」に際し、ご協力頂きました皆様にご場より厚く御礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同